

237多民族福音化のキー(Key)

(マタ 28:16-20)

しかし、十一人の弟子たちは、ガリラヤに行って、イエスの指示された山に登った。そして、イエスにお会いしたとき、彼らは礼拝した。しかし、ある者は疑った。イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子となさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

序論 / 世界の歴史の流れ

- 1) 経済化 — 経済化が成り立つ国によって世界が動く
- 2) 世界化 — 神様は世界化になる方に歴史の流れを導く
- 3) 文化化 — 結局、文化の方に行って、福音化または偶像化をすることである
→ 多民族福音化のキー(Key)は三つ

1. 福音化 — ミッションチーム

- 1) 捨てること (マタ 17:1-9 変貌山) — モーセ、エリヤはすべてを捨ててただキリスト
- 2) 変えること (マタ 28:1-20 カルバリ丘) — 刻印、根、体質 (福音、みことば、祈り)
- 3) 回復すること (ヨハ 21:15-18 ガリラヤ) — 霊的状态のいやし
- 4) 確信すること (使 1:1-8 オリーブ山) — 神の国のこと + 確信 + ミッション
- 5) 体験すること (使 2:1-13 マルコの屋上の間) — 聖霊の満たし
→ 今日の福音を味わいなさい！神様のことを味わいなさい！神様の時刻表を味わいなさい！
神様の人との出会いを味わいなさい！

2. 御座化 — インターンシップ

- 1) マタ 28:18-20 キリストが天と地のすべての権威を持ってともにおられる
- 2) マコ 16:15-20 弟子たちが福音を伝える時、御座に座った主がともに働く
- 3) 使 1:3 神の国のことを40日間語った
- 4) 使 19:8 パウロが大胆に神の国のことを三か月の間伝えた
- 5) ペリ 3:14、20 上に召してくださる神の栄冠のために、私たちの国籍は天にある

3. 時代サミット化 — 人生フォーラム (献身チーム)

- 1) 霊的サミット — 聖書のRemnant7人を見なさい (創 41:38、使 1:8)
- 2) 技能サミット — ただ、唯一性、再創造
- 3) 文化サミット — 光の経済回復、福音/祈り/伝道コンテンツ
→ 光の経済化、時代サミット化の目標
— 第1 RUTC運動 (荒野の運動、ミツパ運動、ドタンの町運動、見張り人運動)
第2 RUTC運動 (会堂に派遣)
第3 RUTC運動 (いやし、サミット)
第4 RUTC運動 (宗教団体、3団体、第4次産業革命時代の後遺症いやし)
第5 RUTC運動 (福音運動の持続)

結論 / 福音を味わう祈りは時空を超越して世を変える力がある

- 祈りの5段階
- 1) すべてを神様に集中
 - 2) すべてが必要ではない。ただ神様だけで良い
 - 3) 新たに下さる神様のこと (ミッション — 祈りの課題)
 - 4) 24時の奥義 (WITH、Immanuel、Oneness)
 - 5) 25時 / 永遠 (神の国が成し遂げられる)
→ 時代ごとに契約を持った少数の人が国と現場を生かした
— 一人 + 一つのチーム + 一つの団体

インマヌエル礼拝メッセージ

12月25日

クリスマス礼拝

「いつもクリスマス」(ルカ2:8-14)

12月26日 聖日礼拝

1部

「契約の系図」(マタ1:17)

レムナント礼拝

「三つのキャンプ準備」(創41:38)

2部 教会学校進級および卒業礼拝

「インマヌエル」(マタ1:20-23)